



山陰防災フォーラム 2017 年秋の講演会
島根大学ユネスコチェア採択記念講演会

時間：平成 29 年 11 月 26 日（日）14：00 - 17：30

場所：島根大学総合理工学部 3 号館 210 室 多目的ホール

14:00-15:35

開会挨拶

秋重幸邦（島根大学理事 企画・学術研究担当副学長）

UNESCO Chair on Geoenvironmental Disaster Reduction in Shimane University

採択された島根大学ユネスコチェア「自然災害軽減」について

汪 発武（島根大学自然災害軽減プロジェクトセンター）

How virtual reality can help visualise and assess geohazards

仮想現実はどのように自然災害の可視化や評価に役立つのか

Hans-Balder Havenith（ベルギー王国、リエージュ大学地球科学科）

Geological hazard risk assessment for a mega engineering project

巨大プロジェクトにおける地質災害のリスク評価

Hengxing Lan（中国科学院地理及び自然資源研究所）

休憩（15:35-15:45）

Environmental geology and engineering geology problems in the permafrost region of Northeastern China

中国東北部の永久凍土地域における環境地質及び応用地質問題

Ying Guo（中国・東北林業大学寒冷地域科学技術研究所）

Study of three dimensional microstructure of loess

黄土の三次元的微細構造に関する研究

Wen Fan（中国・長安大学地質工学及び測地学院）

Introduction to a newly developed DOBOKU Models using anchor

アンカーに関わる「ドボク模型」の紹介

藤井俊逸（藤井基礎設計事務所）

Risk of massive landslide disasters at the Tienchi lake, Changbai volcano, the China/North Korea border

中国・北朝鮮国境、長白山天池における大規模地すべり災害リスクの予察的調査

宮城豊彦（東北学院大学教養学部地域構想学科）

17:15-17:30

総合討論（主宰：田坂 郁夫 山陰防災フォーラム議長）